

木津川市環の拠点創出事業提言書 概要版



平成 年 月
木津川市環の拠点創出事業準備委員会

1. 上狛南部地域の地域振興に向け

上狛南部地域は、茶問屋街として栄えてきた歴史がある一方、その風情が近代化により失われてきている状況である。

しかし、現在も茶の香るまちとしての魅力は失われておらず、これまで培われてきた生活の中での茶は地域文化となって育まれている。

このような地域特性を活用するとともに、この地域が府道京都八幡木津自転車道線の起終点に近いことなどから、サイクリストや観光客を誘客に向けた新たな事業を創出するため、検討をした。



【府道京都八幡木津自転車道線】

「茶問屋街」は、**自転車道の起終点から泉大橋を渡った対岸**に位置（約0.5km）

自転車道の利用は増加傾向にあるが、近隣に**沿道施設（トイレ、休憩所など）**がない

2. 環の拠点創出事業コンセプト



地域との交流の環

- ・「本物のお茶」の発信
- ・地域特産品の提供
- ・市内の観光ルート拠点
- ・市外との広域的な観光連携



環(わ)の拠点



健康づくりの環

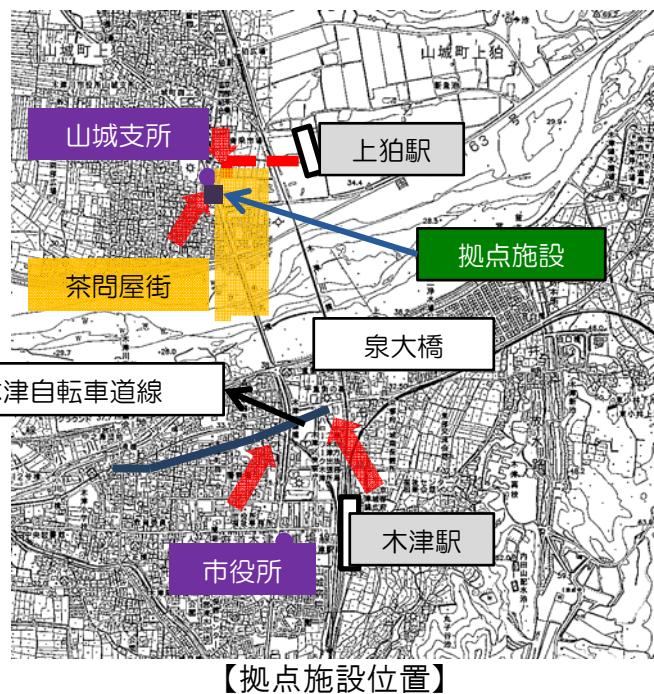
- ・地域住民の楽しみ
- ・高齢者の交流
- ・各種サークルの紹介
- ・老人クラブの活動

- ・サイクリストの誘客
- ・サイクリストの観光
- ・休憩所などの設置
- ・サイクリングの拠点

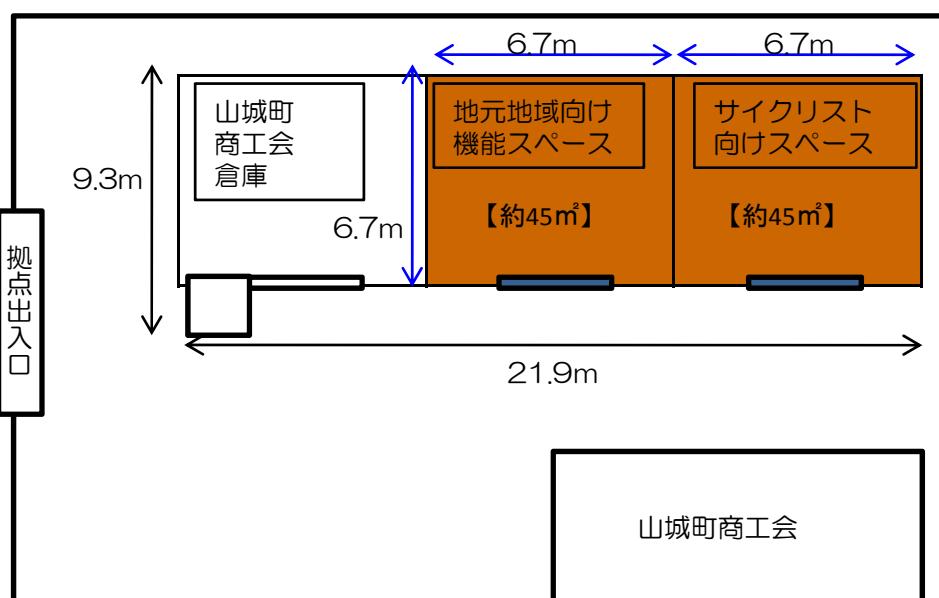


3. 事業における拠点施設

施設名：京都やましろ農業協同組合倉庫
地番：木津川市山城町上狛北的場15番地
面積：約165m²
所有者：京都やましろ農業協同組合
使用者：木津川市山城町商工会
施設整備者：木津川市



4. 拠点施設の配置

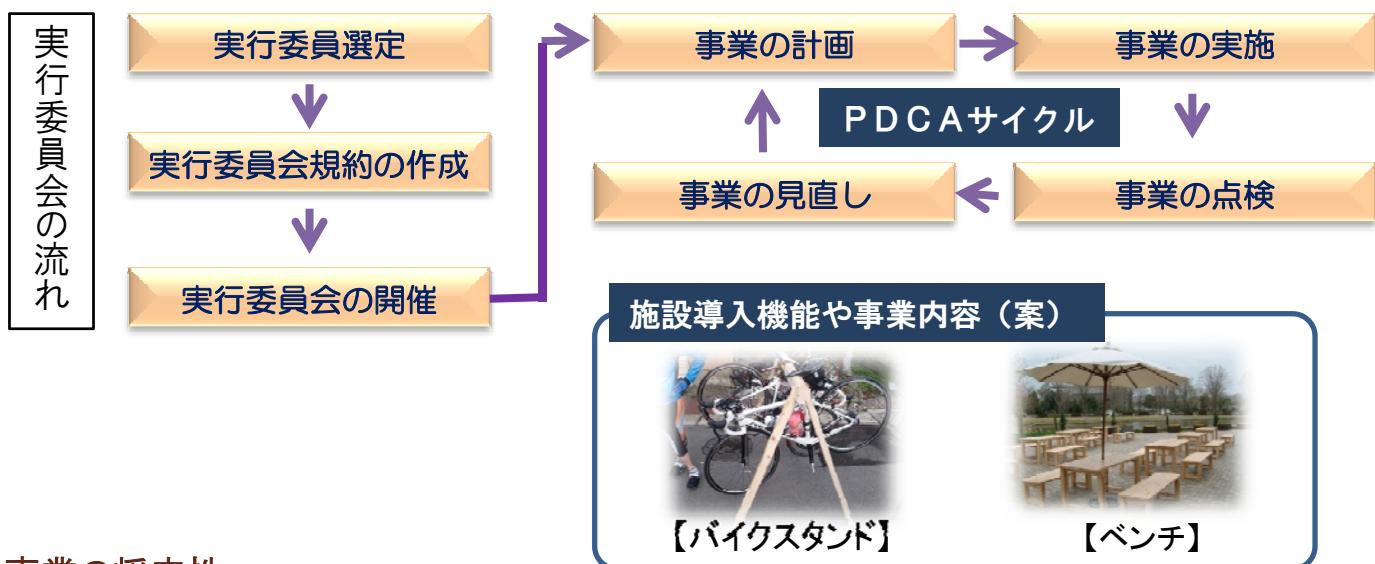


【施設内部の配置イメージ】

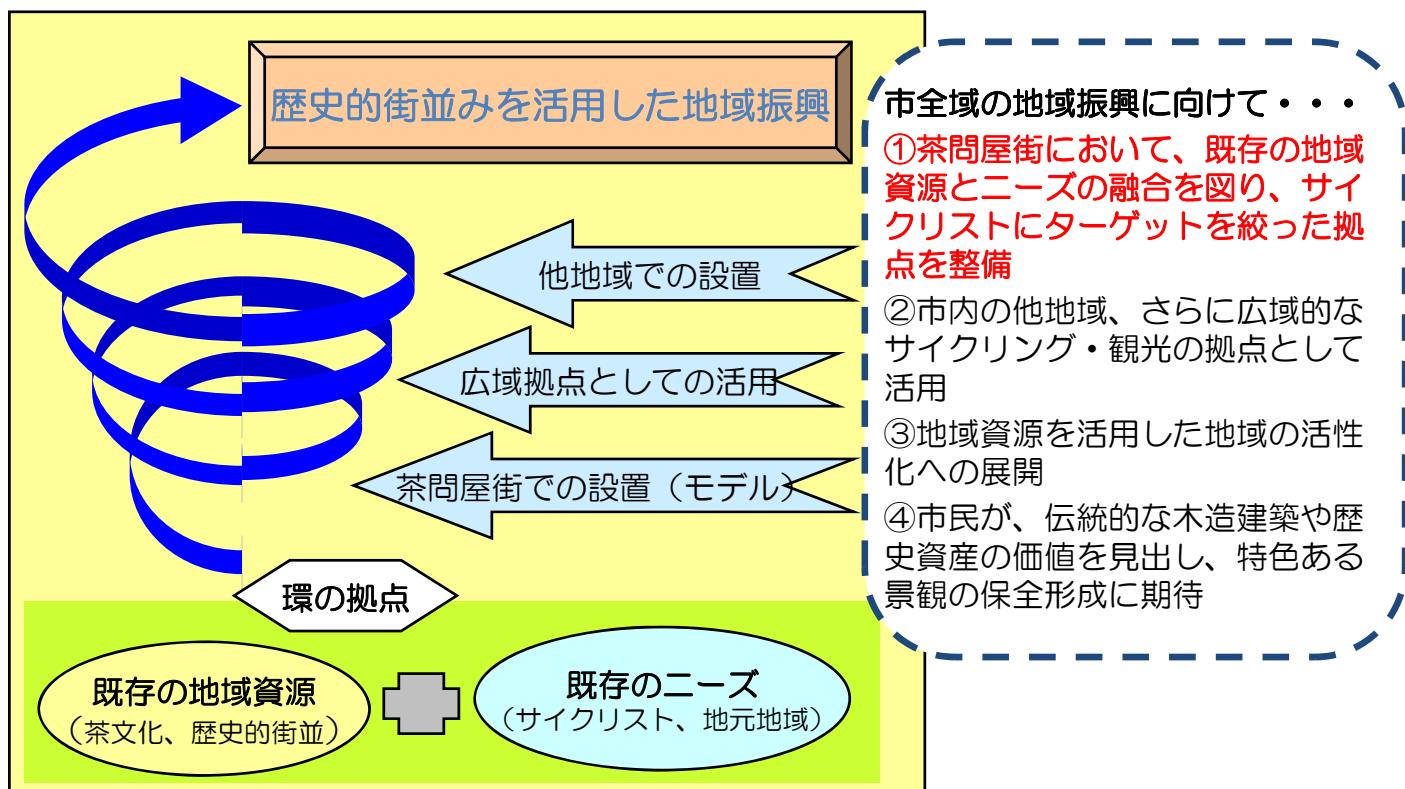
5. 事業運営について

地域団体及び公共的団体等が、新しい一つの組織（【仮称】環の拠点実行委員会）を立ち上げ、地域振興のために事業を展開する。

また、事業の継続性のために、実行委員会は、事業の実施状況を確認し、計画(Plan)→実施(Do)→点検(Check)→見直し(Act)のプロセスを繰り返し行う、PDCAサイクルにより、事業の達成状況などを管理する。



6. 事業の将来性



表紙挿絵:山崎 正史氏
(環の拠点創出事業準備委員会会長)